



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流
 コード番号 9055 URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼居 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理副担当 兼 経理部長(氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	76,891	△3.9	3,304	△9.5	3,302	△10.7	1,978	△4.4
2019年3月期第3四半期	80,010	1.1	3,649	△4.5	3,696	0.2	2,069	3.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,847百万円(△4.4%) 2019年3月期第3四半期 1,932百万円(△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.98	55.85
2019年3月期第3四半期	58.61	58.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	76,701	51,442	60.2	1,305.65
2019年3月期	75,604	50,521	59.5	1,274.53

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 46,164百万円 2019年3月期 45,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	△3.7	4,300	△8.9	4,300	△11.0	2,500	0.0	70.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 兆普電子(上海)有限公司、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	35,474,400 株	2019年3月期	35,474,400 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	116,856 株	2019年3月期	158,856 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	35,343,466 株	2019年3月期3Q	35,313,379 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月～12月）の世界経済は、米国は全般的に底堅く推移しましたが、後半には成長を牽引してきた個人消費が鈍化してきました。中国では、貿易摩擦の影響などにより景気が減速しています。また、国内経済も輸出の低迷により、成長が鈍化しています。

このような事業環境下において、当社は中期基本方針を「進化する『最適物流』をより多くのお客様に」と定め、中期経営計画初年度の当期は、次の戦略・施策を推進し、グローバルにビジネスの拡大を図っております。

- ①G T B（Get The Business / 市場と商品の拡大）：HUB拠点の整備とネットワークの充実。車載向け事業体制の確立。
- ②G T P（Get The Profit / 間・直の生産性向上）：自動化とTIEの導入による改善の進化。戦略投資の拡大と確実な刈り取り。
- ③G T C（Get The Confidence / 選ばれる会社）：桁違い品質の実現。CSR体制の強化と活動の充実。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高76,891百万円(前年同期比 3.9%減)、営業利益3,304百万円(同 9.5%減)、経常利益は3,302百万円(同 10.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,978百万円(同 4.4%減)となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、各種電子機器、自動車、産業用機器などの市況悪化を受けて荷動きが減少しました。一方で、5G（次世代通信規格）、IoT、自動車の電子化など、次世代技術の進展により半導体や電子部品は今後の需要拡大が見込まれております。

当社グループでは、中長期的に電子部品の需要拡大が見込まれる地域を中心に、新たにHUB拠点の整備とネットワークの充実を進め、新規取扱貨物量の拡大を図っております。アセアン、南アジア地域においては、7月にタイで大型の新倉庫を竣工、営業を開始しました。欧州では、東欧展開の足掛かりとしてハンガリーに事務所を開設しました。更に、これまで拡充した拠点の充実を図ると共に、安定稼働と生産性向上に取り組んでおります。

また、車載関連物流強化策の一つとして、㈱ロジコム社と合弁会社を設立し、海外展開の第一段階としてインドに現地法人を設立し、車載関連ビジネスの拡大を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、国内外で新規顧客の獲得に取り組みましたが、電子部品全体の荷動きが減少したことや、グループ向けの売上高が減少したことなどにより、減収減益となりました。

当セグメントの売上高は39,076百万円(前年同期比 2.1%減)、営業利益は2,149百万円(同 13.7%減)となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネス、物流改善を意識した包装資材の提案営業を進めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、スマートフォン向けや車載関連向けの需要減に伴い売上高が減少しました。

当セグメントの売上高は18,847百万円(前年同期比 12.9%減)、営業利益は455百万円(同 24.5%減)となりました。

③消費物流事業

消費物流分野では、小売企業の宅配サービスや通信販売ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境において、当社グループで消費物流を担う㈱流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、生協関係の宅配及び化粧品関係の商品センター業務の拡販により増収増益を確保することができました。

当セグメントの売上高は18,967百万円(前年同期比 2.9%増)、営業利益は699百万円(同 25.7%増)となりました。

（2）財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較した当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産が、設備投資や配当金の支払いに伴い現金及び預金が減少したことから、923百万円減少しました。固定資産は、中国での中古倉庫取得や倉庫リース資産の計上などにより2,020百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比1,097百万円増の76,701百万円となりました。

負債については、流動負債が未払法人税等や賞与引当金の減少などによって871百万円減少しました。固定負債はリース債務の計上などにより1,048百万円増加し、負債合計は、前連結会計年度末比176百万円増の25,258百万円となりました。

純資産については、当社の配当金支払い、子会社における外部株主への配当金支払い、為替換算調整勘定の減少などがありましたが、利益確保により、前連結会計年度末比920百万円増の51,442百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比0.7ポイント上昇の60.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中貿易摩擦、英国のEU離脱、中東情勢など、世界経済は依然として不透明な状況にあります。当社の主要顧客である電子部品業界において、各種電子機器や自動車などの販売減少を受けて、期初の想定以上に貨物の取扱量が減少しています。

このため、2020年3月期通期連結業績予想につきまして、2019年4月26日に開示した業績予想を以下のとおり修正いたします。

中長期的には5Gや自動車の電子化などにより半導体や電子部品の需要は拡大が見込まれております。当社におきましては、拠点ネットワークの拡充による外販を中心とした売上拡大、自動化やシステム化などによるオペレーションの効率化に努め、収益基盤の強化を図ってまいります。

（単位：百万円）

	今回修正予想 (2020年1月30日開示)	期初予想 (2019年4月26日開示)
売上高	101,000	106,000
営業利益	4,300	4,700
経常利益	4,300	4,600
親会社株式に帰属する 当期純利益	2,500	2,650

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,979	15,237
受取手形及び営業未収金	16,541	16,778
商品	1,694	1,466
その他	2,715	2,524
貸倒引当金	△21	△20
流動資産合計	36,909	35,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,261	12,794
土地	16,765	16,787
その他(純額)	4,603	5,243
有形固定資産合計	32,629	34,825
無形固定資産		
その他	3,012	3,275
無形固定資産合計	3,012	3,275
投資その他の資産		
投資有価証券	293	170
その他	2,760	2,444
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,052	2,613
固定資産合計	38,694	40,715
資産合計	75,604	76,701
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,598	10,230
短期借入金	2,107	1,986
未払法人税等	860	161
賞与引当金	1,640	908
役員賞与引当金	—	38
その他	3,763	4,773
流動負債合計	18,969	18,097
固定負債		
長期借入金	900	900
役員退職慰労引当金	58	60
退職給付に係る負債	2,240	2,346
その他	2,914	3,853
固定負債合計	6,112	7,160
負債合計	25,082	25,258

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	1,930	1,945
利益剰余金	40,548	41,880
自己株式	△110	△81
株主資本合計	44,717	46,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	30
為替換算調整勘定	395	179
退職給付に係る調整累計額	△158	△138
その他の包括利益累計額合計	293	71
新株予約権	66	53
非支配株主持分	5,444	5,224
純資産合計	50,521	51,442
負債純資産合計	75,604	76,701

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	80,010	76,891
売上原価	71,221	68,501
売上総利益	8,789	8,389
販売費及び一般管理費	5,139	5,084
営業利益	3,649	3,304
営業外収益		
受取利息	38	48
受取配当金	25	6
為替差益	150	96
その他	83	155
営業外収益合計	297	306
営業外費用		
支払利息	107	193
その他	143	114
営業外費用合計	251	308
経常利益	3,696	3,302
特別利益		
固定資産売却益	3	7
受取保険金	7	—
投資有価証券売却益	—	91
その他	1	4
特別利益合計	12	104
特別損失		
固定資産除売却損	21	16
投資有価証券売却損	—	2
その他	1	3
特別損失合計	22	22
税金等調整前四半期純利益	3,686	3,383
法人税、住民税及び事業税	991	789
法人税等調整額	239	284
法人税等合計	1,231	1,074
四半期純利益	2,454	2,309
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,069	1,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	384	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	△26
為替換算調整勘定	△425	△457
退職給付に係る調整額	14	21
その他の包括利益合計	△522	△462
四半期包括利益	1,932	1,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,664	1,653
非支配株主に係る四半期包括利益	268	193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったALPS LOGISTICS HONG KONG LTD.、ALPS LOGISTICS (S) PTE. LTD.、ALPS NAIGAI LOGISTICS (MALAYSIA) SDN. BHD.、TIANJIN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (GUANGDONG) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (USA), INC.、DALIAN ALPS TEDA LOGISTICS CO., LTD.、SHANGHAI ALPS LOGISTICS CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO, S. A. DE C. V.、ALPS LOGISTICS (THAILAND) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS TAIWAN CO., LTD.、ALPS LOGISTICS KOREA CO., LTD.、ALPS LOGISTICS (CHONGQING) CO., LTD.、ALPS LOGISTICS EUROPE GmbH、ALPS LOGISTICS VIETNAM CO., LTD.、ALPS LOGISTICS MEXICO EXPRESS, S. A. DE C. V.、TEDA ALPS LOGISTICS SHANGHAI CO., LTD.は同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報の把握及び四半期連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,931	21,646	18,432	80,010	—	80,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	39,931	21,646	18,432	80,010	—	80,010
セグメント利益	2,489	603	555	3,649	—	3,649

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,076	18,847	18,967	76,891	—	76,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	39,076	18,847	18,967	76,891	—	76,891
セグメント利益	2,149	455	699	3,304	—	3,304

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。